

# いわて復興だより



復興に向けて歩み続ける岩手県の今を紹介します

平成 23 年 3 月 11 日に東日本大震災津波が発生しました。発災以来、国内外から多くの温かい励ましや御支援をいただいております。心から感謝申し上げます、この「つながり」を大切にしていきたいと思っております。復興に向けて歩み続ける岩手の今を紹介します。

がんばろう!岩手 つながろう!岩手 第 157 号 令和 2 年 1 月号

## 釜石市民体育館こけら落とし 岩手ビッグブルズ勝利で祝う

釜石市  
KAMAISHI

釜石市が、三陸鉄道鶴住居駅前エリアの“うのすまい・トモス”に整備を進めていた釜石市民体育館が完成し、12月1日(日)、オープニングセレモニーが開催されました。

同市桜木町にあった旧体育館は、東日本大震災津波の地震で損壊したため平成 25 年に解体されました。

新体育館が位置する同エリアには震災の伝承施設“いのちをつなぐ未来館”が、近隣にはラグビーワールドカップ 2019™日本大会の会場となった“釜石鶴住居復興スタジアム”

があり、鶴住居地区再生の中核施設として移転整備が進められてきました。

2階建ての新体育館は、バレーボールやバスケットボールのコート2面、観客席 776 席(車いす用 6 席)が整備されたほか、バリアフリーにも配慮したトイレやエレベーター、冷暖房設備、温水シャワー室などが設けられています。

新体育館の完成により、同市の被災公共施設の復旧が全て完了しました。

12月14日(土)、15日(日)には、盛岡市に拠点を置く日本プロバスケットボール男子Bリーグ3部(B3)の岩手ビッグブルズと金沢武士団(カナザワサムライズ)によるこけら落としの試合が行われ、市内外から訪れた多くの観客が熱戦を楽しみました。

試合は、岩手ビッグブルズが観客の熱い声援に応えて、14日は108対68、15日は92対81で快勝し、新しいスポーツ振興拠点のオープンを勝利で飾りました。



釜石市民体育館の外観



オープニングセレモニーでのテープカット  
(写真提供:釜石市)



こけら落としの試合の様子  
(写真提供:株式会社岩手ビッグブルズ)

## まるまる 三陸屋台村おおつち〇〇横丁オープン

大槌町  
OTSUCHI

12月22日(日)、三陸鉄道大槌駅前に「三陸屋台村おおつち〇〇(まるまる)横丁」がオープンしました。

この屋台村は、町内で給食事業を展開する株式会社甘輝舎(かんきしゃ)が町有地を借りて建設したもので、平屋2棟に、仮設商店街から移転した店舗や新たに飲食業に参入した店舗など9店舗が出店しています。

名前の“おおつち〇〇横丁”の〇〇(まるまる)には「ゼロからの出発、三陸復興に二重丸、三陸沿岸を丸っとひとまとめ、ぐるっと丸めてすべてよし、すべてを丸く包む〇、大槌を〇〇すべてこの横丁から発信する」との思いが込められており、新たな町の賑わい拠点になることが期待されています。



大槌駅前にオープンした三陸屋台村おおつち〇〇横丁(写真提供:株式会社甘輝舎)

### 三陸屋台村おおつち〇〇横丁

住所: 上閉伊郡大槌町本町 1-13  
営業時間: 10:00~24:00  
(店舗により異なります)

- ばあばキッチン: ピザ・洋食
- 食道園: 焼肉・キムチ
- 七福食堂: 焼き鳥・酒
- おかめ食堂: 定食・酒
- 中華一(はじめ): 中華料理・酒
- ジャズ喫茶クイン: コーヒー・軽食
- 居酒屋味鮮: 酒・海鮮
- 大槌のかき小屋 初栄丸: カキ・海鮮
- スナック安: 酒・カラオケ・軽食

詳しくは  
ホームページを  
御覧ください。



<https://sanriku-yataimura-otsuchi.jp/>

## 三陸鉄道リアス線 運行再開

三陸鉄道  
RIAS LINE

田老駅 - 田野畑駅間、陸中山田駅 - 津軽石駅間

令和元年10月の台風第19号で甚大な被害を受け、一部区間が不通となっていた三陸鉄道リアス線は、12月28日(土)に田老-田野畑間、1月16日(木)に陸中山田-津軽石間で運行が再開されました。

残る釜石-陸中山田間、田野畑-久慈間においても、懸命の復旧作業が続いており、3月20日(金)に全線再開し、東京2020オリンピック・パラリンピック協議大会の聖火リレーに先立ち3月22日(日)からは車内に「復興の火」が展示される予定です。

なお、今回の再開で運行可能となった宮古-陸中山田間では、2月から「プレミアムこたつ列車」が運行される予定となっており、宮古市の新名物「瓶ドン」や、活ホタテ剥き体験などが楽しめる企画となっていますので、是非ご乗車ください。

なお、運行再開情報やイベント列車の詳細は、三陸鉄道ホームページをご確認ください。

三陸鉄道「プレミアムこたつ列車」の申込はこちら



運行再開を祝う地域住民  
(上：陸中山田駅、下：田野畑駅)

## 「三陸ジオパーク」再認定

三陸沿岸  
SANRIKU AREA

12月25日(水)に開催された日本ジオパーク委員会において、「三陸ジオパーク」の再認定(認定期間4年)が決定されました。

ジオパークとは、ダイナミックな地球の活動がよくわかる地質や景観が大切に守られ、教育や持続可能な開発に活用されている地域として認定されるものです。

青森県八戸市から岩手県の沿岸を縦断して宮城県気仙沼市までをエリアとする「三陸ジオパーク」は、平成25年9月に日本ジオパークとして認定されましたが、平成29年の再認定審査では、いくつかの課題が指摘され、2年後に再審査を受ける必要がある条件付きの再認定となりました。

令和元年11月に実施された現地審査では、課題の改善に向けた取組の確認が行われ、再認定となりました。

今後のガイド活動のさらなる活性化と国内外への津波災害からの復興で得た経験の発信に期待が寄せられます。



ジオパーク再認定審査員による浄土ヶ浜視察の様子

つなみ

## 世界へ、未来へ、「いわて TSUNAMI メモリアル」

東日本大震災津波の事実と教訓を伝える施設「東日本大震災津波伝承館」(いわて TSUNAMI (つなみ) メモリアル) を紹介します。

1月17日(金)、昨年9月22日に開館した東日本大震災津波伝承館(いわて TSUNAMI (つなみ) メモリアル)の来館者数が10万人に達しました。記念すべき10万人目の来館者となった秋田県からお越しの阿部富士浩様、真由美様ご夫妻には、立花副館長から御礼の言葉とともに、記念品が贈呈されました。

東日本大震災津波発災から間もなく9年の月日が流れようとしています。東日本大震災津波伝承館では、この悲しみを二度とくり返さないためにも、これからも記憶の風化を防ぎ、震災津波の事実と教訓を伝えていきます。



来館者10万人記念セレモニーの様子

### 東日本大震災津波伝承館 2月のイベント情報

#### 「いわて TSUNAMI メモリアル講座」

- 内容 東日本大震災津波の伝承活動を行う高校生による活動報告
- 日時 <発表の部> 2/11(火・祝) 13:00~14:00  
\*入場無料(定員:30名)  
<展示の部> 2/8(土)~16(日) 9:00~17:00
- 場所 セミナールーム(高田松原津波復興祈念公園 管理棟内・道の駅側)

※詳しくは公式ホームページをご覧ください。

<https://iwate-tsunami-memorial.jp/>



### 東日本大震災津波伝承館 臨時休館日のお知らせ

展示施設のメンテナンスのため、3月3日(火)及び4日(水)は休館します。



# 達増知事、宮古で年頭の訓示

宮古市  
MIYAKO

1月6日(月)、達増知事は、宮古市の宮古地区県合同庁舎で、職員約200人を前に年頭の訓示を行いました。

東日本大震災津波からの復興については、長期化する仮設住宅生活への支援や新たなコミュニティの形成、なりわいの再生のための事業者支援等が重要であるとともに、昨年9月にオープンした東日本大震災津波伝承館を拠点として、「復興の伝承と発信にも力を入れていく1年にしたい」と述べました。

また、令和元年台風第19号災害についても、3月20日(金)に全線復旧を目指す三陸鉄道をシンボルに、速やかな復旧を果たしていかなければならないと訓示しました。

また、この日は、宮古市魚菜市場や、台風で被災した同市重茂漁協のサケ孵化施設などを訪問視察したほか、三陸鉄道本社にも訪問し、懸命の復旧作業に取り組む社員を激励しました。



宮古市魚菜市場への訪問視察



三陸鉄道本社への訪問

# 「社会資本の復旧・復興ロードマップ」 における復興事業の状況

海岸保全施設では、昨年11月に山田町の織笠漁港海岸防潮堤1.4km、12月に陸前高田市の広田漁港海岸防潮堤1.1kmと長部漁港海岸防潮堤0.7kmの計3か所が完成しました。防潮堤には、消防団員の安全を確保するため津波注意報等の受信により陸こう部の門扉が自動で閉鎖できるシステムが備え付けられ、順次運用が開始されています。

また、内陸部の北上市では、黒沢尻地区災害公営住宅34戸が11月に完成しました。整備に当たっては、入居予定者の意見交換会を開催し、入居者同士が顔を合わせる機会を設けることで、入居後の暮らしが円滑に始められるよう工夫がなされました。

岩手県では、年に2回、「社会資本の復旧・復興ロードマップ」を公表しています。

復旧・復興事業の進捗状況についての詳細は県ホームページを御確認ください。



長部漁港海岸：陸前高田市



黒沢尻地区災害公営住宅：北上市



## さんりくイベント情報



## EVENT

### 東日本大震災風化防止イベント 復興応援・復興フォーラム2020 in 東京

入場  
無料

日時：2/16(日) 11:00～16:00  
場所：東京国際フォーラム ホール B7 東京都千代田区丸の内3-5-1

#### ステージイベント

- ① オープニングセレモニー 11:30～  
主催者挨拶  
東京都知事 小池百合子 / 岩手県知事 達増拓也
- ③ 東京都応援プログラム 14:40～  
【ミニライブ＆トーク】  
参加アーティスト 福田 こうへい 氏
- ② 東北4県プログラム 12:30～  
【プレゼンテーション～スポーツによる復興～】  
青森県 青森山田高校 男子新体操部監督  
岩手県 釜石シーウェイブス RFC  
宮城県 東北楽天ゴールデンイーグルス  
福島県 福島ユナイテッド FC
- ④ クロージングセレモニー 15:10～  
特別プレゼントが当たるお楽しみ抽選会

#### 会場内イベント

- 買って応援 4県の県産品の販売
- クイズラリー クイズに答えてプレゼントをもらおう
- 体験しよう  
青森県・金魚ねぶた作り体験  
岩手県・チャグチャグ馬コ作り体験  
宮城県・こけし絵付け体験  
福島県・起き上がり小法師 絵付けなどの体験

イベントの  
詳細は ↓



※事前の参加予約は不要ですが、席には限りがありますので、入場できない場合がございます。※イベント内容は変更となる場合があります。

問い合わせ ■ 東日本大震災風化防止イベント事務局 ☎ 019-625-1342 (平日 10:00-17:00)

2/8 土  
平庭高原 スキー場まつり  
久慈市 KUJI  
場所 ▶ 平庭高原スキー場

「雪中宝さがし大会」やスノーモービルチューブトレインなどで雪遊びができるほか、郷土料理の「短角牛ペゴ汁」や「久慈まめぶ汁」を楽しむことができます。夕方には、イルミネーションやたいまつ滑走、花火大会も行われます。(\*無料送迎バス運行)

問い合わせ ▶ 平庭高原スキー場まつり  
実行委員会事務局  
(久慈市役所山形総合支所 産業建設課内)  
☎ 0194-72-2111

2/15 土  
龍泉洞 きさらぎまつり  
岩泉町 IWAIZUMI  
場所 ▶ 龍泉洞

冬は1年の中でも地底湖の透明度がいっそう増すシーズンです。  
第1～第3地底湖の水中照明が点灯する「地底湖ライティング」などの限定イベントが行われるほか、いわずいわず炭鉱ホルモン鍋や岩泉黒豚のみ餃子のキッチンカーも出店されます。

問い合わせ ▶ 龍泉洞事務所  
☎ 0194-22-2566



つばきの見頃のピークにあわせて開催する「三陸・大船渡 第23回つばきまつり」では、世界13カ国550種の華麗なツバキの競演を楽しむことができます。



館内に咲き誇る「つばき」

アメリカやフランス、ベトナムなどの外国産ツバキが展示されています。

また、開催期間中は、椿油搾油体験、椿油ハンドマッサージ体験などの各種イベントが隔週日曜日に行われるほか、つばきクレープや郷土菓子なども販売されます。

大船渡市は、ヤブツバキが生育する太平洋沿岸の北限として知られ、市内のいたる所でヤブツバキの自生が見られ、「椿の里」と呼ばれています。

つばきまつりの会場となる「世界の椿館・碁石」では、日本産ツバキのほか、

- 開催日：1/19（日）～3/22（日）\*休館日なし
- 時間：午前9時～午後5時
- 会場：大船渡市総合交流ターミナル施設「世界の椿館・碁石」（大船渡市末崎町字大浜 280-1）
- 料金：一般・高校生 500円（団体 450円）  
小・中学生 300円（団体 250円）
- 問い合わせ：つばきまつり実行委員会（事務局：大船渡市農林水産部農林課内）  
☎ 0192-27-3111

イベントの詳細は、「三陸・大船渡 第23回つばきまつり」のホームページを御確認ください。



連載「いわてさんりくびと」では、被災地・三陸の復興に向け、熱い想いをもち、活躍する方々を紹介していきます。

第102回は、山口 光司さんを紹介します。

PROFILE

栃木県出身。東京の大学在学中に、野田村の山ぶどうやワイナリーについて知る。

東北沿岸で仕事をしたいと思い就職活動をする中、野田村の地域おこし協力隊の募集を知り応募し、2018年4月、野田村に移住する。

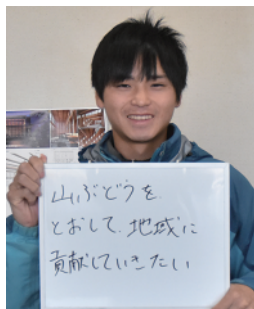
地域の歴史を継承するためにも

農業に関心があった山口さんは、“手に職をつけられる仕事がしたい”と思い、地域おこし協力隊として野田村に移り住みました。

「第一次、第二次産業で、担い手が少ない仕事をしたいと考え、今は、山ぶどうを中心に農産物の栽培の手伝いをしています。山ぶどうは育てるのに手間がかかる割には、粒が小さく、皮や種も多いので生食に向きませんが日本原産の希少価値の高い品種です。山ぶどうを栽培して



野田村役場 産業振興課  
地域おこし協力隊  
山口 光司 さん  
(やまぐち こうじ)



山ぶどうをとおして、地域に貢献していきたい

いる地域は開拓地でもあり、入植者の方々の苦勞の歴史があります。先人たちの思いを継承するためにも、山ぶどうの栽培を途切らせないようにしたいと思います。野田村の誇れる特産品として山ぶどうをより多くの人に知ってもらえるよう頑張っています。」と山口さんは仕事への意気込みを語ります。

移住へのきっかけ作りを

都会で働くことより野田村での仕事にやりがいを感じている山口さんは「自分も就職前に、岩手県で実際の生活を体験する機会があり、その経験が野田村で就職することのきっかけになりました。地域で行われている移住・交流フェアなどでは説明を聞き、相談で終わってしまう場合もあります。実際に来てみないと分からない部分も多くあるので、移住へのきっかけ作りとして、民泊や体験プログラムなどが必要だと思います。」と自分の経験をもとに、地域への移住・定住について話します。

岩手県の被害状況

令和元年 12月31日現在

- ▶人的被害 死者（直接死）：4,674人 行方不明者：1,112人  
死者（関連死）：469人
- ▶建物被害（住家のみ、全半壊） 26,079棟

被害状況等の詳細  
義援金・寄付金の募集等

いわて防災情報ポータル

検索

皆様のご支援、ありがとうございます

令和元年 12月31日現在

- ▶義援金受付状況 約187億1,959万円（97,176件）
  - ▶寄付金受付状況 約200億6,125万円（9,705件）
  - ▶いわての学び希望基金（※）受付状況 約99億9,573万円（24,135件）
- ※被災した子どもたちが勉強やスポーツ等に励めるよう「くらし」「まなび」の支援に使われます。

いわて震災津波アーカイブ～希望～  
約24万点の資料を検索・閲覧できます。

いわて震災津波アーカイブ

検索



いわて復興だより Web

一部記事、いわてさんりくびとを動画で紹介しています。  
ビジュアル豊富なWebもご覧ください。

